

クレーンとの出会いが人生を変えた。  
家族と会社の支えで子育てにも奮闘中

未経験でも大丈夫！

新山 翔子 さん

SHOKO NIIYAMA #32  
共栄産業 株式会社  
重機課(資材管理)  
クレーンオペレーター

## DATA

十和田市出身。青森県立北斗高等学校通信課程普通科卒業後、いくつかの民間企業を経て2015年6月に入社。移動式クレーン運転士免許、車両系(整地等)、アーク溶接基本級A-2F、玉掛け、ガス溶接など多くの資格を保有する2児のママ。

共栄産業 株式会社

青森県十和田市大字大沢田池ノ平1-304  
tel.0176-27-3001  
<http://kyoueisangyoutowada.p-kit.com/>



## ラフタークレーンに一目ぼれ

「ラフタークレーンに一目ぼれしまして」。県内では数少ない女性クレーンオペレーターになったきっかけをこう話すのは共栄産業株式会社(十和田市)の新山翔子さん。高校卒業後、県外の工場でNC旋盤オペレーターとして働いていた新山さんは、21歳で地元へ戻り、いくつかの職場を経験。そして、26歳の時にラフタークレーンと出会い、人生が大きく変わりました。

当時の新山さんは、シングルマザーとして当時まだ2歳だった長女の子育てと仕事の両立をめざし奮闘する毎日。ある日、当時勤めていた会社に偶然置いてあったラフタークレーンを見て「これだ!」と直感します。「クレーンオペレーターなら規則的な勤務時間で安定した収入を得ることが可能なのではと考えました」。すべては子供と過ごす時間を確保し、子供の将来に不安を残さないようにするための判断でした。

※NC旋盤とは、各種の旋盤に数値制御(Numerical Control)装置を取り付け、刃物台の移動距離や送り速度を数値で指示できるようにした機械のこと。

自社車両置き場のラフタークレーン

## 免許取得し未経験からのチャレンジ

そこからの新山さんは持ち前の行動力を発揮し、すぐにクレーン免許を取得。十和田市内にある数々のクレーンを扱う企業にアプローチをした結果、現在の職場である共栄産業に未経験のまま採用となりました。

クレーンオペレーターは通常、クレーンに吊り荷を掛ける玉掛けなどの「下回り」という役割から修業をスタートすることが多いそうですが、女性に下回りをやらせるのは危ないとの会社の判断から、新山さんはいきなりクレーンに乗り込むことに。乗る前は「ついに自分の力でクレーンに乗れる!という嬉しさでいっぱいでしたが、すぐにその気持ちは消えてしまいました。とにかく何がわからないのかわからない位で、慣れるまで大変でした」と入社当時を振り返る新山さん。しかし、会社が新山さんに経験を積ませようと優先的にクレーンに乗せてくれたこともあり、周りのサポートを受けながらクレーン作業をこなす中でどんどん技術を身につけていきました。

「親方が色々教えてくれたおかげで気持ちに余裕が生まれ、そこからクレーンに乗っていても広範囲を見ることができるようになったのを今でも覚えています」

現在の新山さんの仕事は、本社敷地内ヤードでの作業が中心。現場から戻ってきた「矢板」と呼ばれる板状の杭をクレーンで下ろす作業や、溶接による矢板の補修などの鍛冶仕事、部材の在庫管理などを行う傍ら、積極的に後進の指導にもあたっています。「未経験の若い子達に鍛冶仕事を教えると、その子達が現場で経験を積んで帰ってきて、部材製作を手伝ってくれる訳です。そしてみんなで作ったその部材がまた現場で役に立つ。本当にこの仕事をしていて良かったと思う瞬間です」

いつも運転をしている  
クレーンの前に立つ新山さん

## 会社が子育てを手厚くバックアップ

職場の同僚である大樹さんと結婚した新山さんは現在、2人目のお子さんとなる1歳の長男の子育て真っ盛り。働きながらの子育ては難しいのが常ですが、会社側の手厚いバックアップで子育てと仕事を両立しています。「子供関係の用事がある時などはお休みやお時間をいただくなど、もうこれ以上ないというぐらい本当によくしていただいています」

そして、子育てが一段落したらやってみたい次の目標があります。「当然現場には出たいと思っています。でも、まずは現場に出た時にしっかりとできるように、今のうちに技術力を磨いておきたいです」

未経験からこの業界へ入った新山さん。建設業を志す女性や学生へは「私もそうだったように『自分は何もできないのでは』と感じている人こそ建設業に来てほしい。この業界はそんな人を受け入れてくれる」とエールを送ります。がんばる人を応援してくれる会社と仲間。そして何よりも大切な家族の応援を受け、今日も新山さんはクレーンに乗り込みます。

溶接技術を用いた鋼矢板の補修、  
部材製作などの鍛冶仕事もこなす

## ひとことメッセージ

共栄産業 株式会社 管理部長

沢目 義広

新山さんには矢板の在庫管理などさまざまな仕事をやらせてもらっていますが、他の従業員とのコミュニケーションも十分とれてますし、前向きに仕事に取り組んでもらっています。弊社ではさまざまな工事を請け負っておりますので、溶接などさまざまな資格を取りながら今後もがんばっていただきたいですね。私は海外で仕事をしていたこともあり、女性がこの業界で活躍する時代が日本にも来たのかなと感じています。弊社にはITによる自動運転の圧入機もありますので、今後はより女性でも対応できる環境になってくるのではないのでしょうか。人手不足の問題もありますので、男性、女性問わず自分が将来何をやりたいかというビジョンさえあれば、会社としては資格取得支援などでその気持ちに応えていきたいと考えています。

